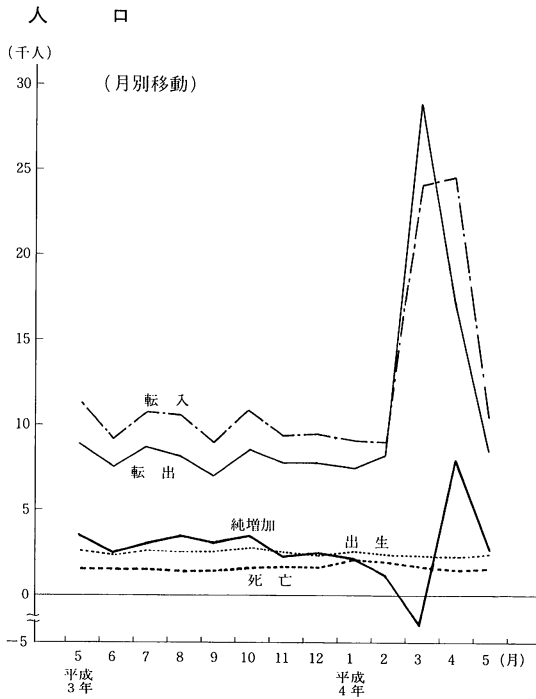
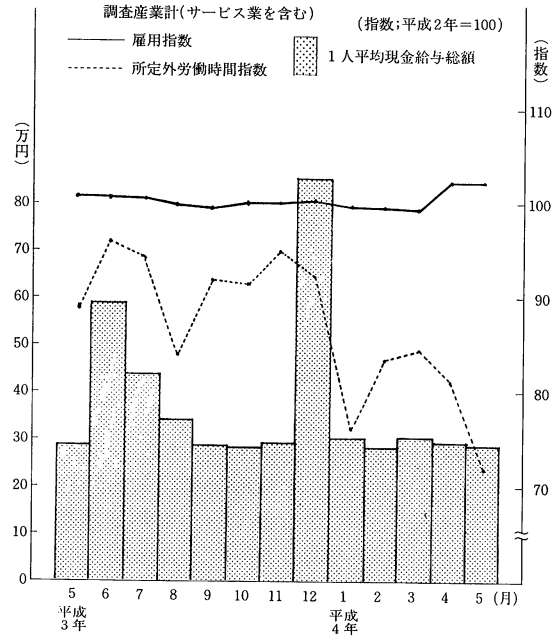


● 今月の主な動き

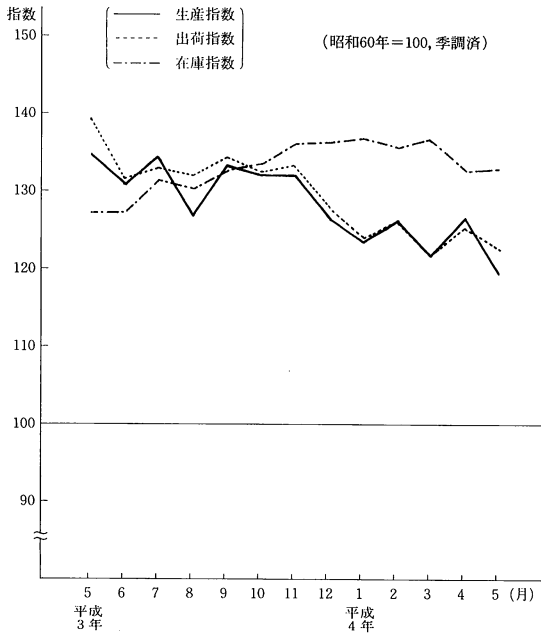
今月の主な動き



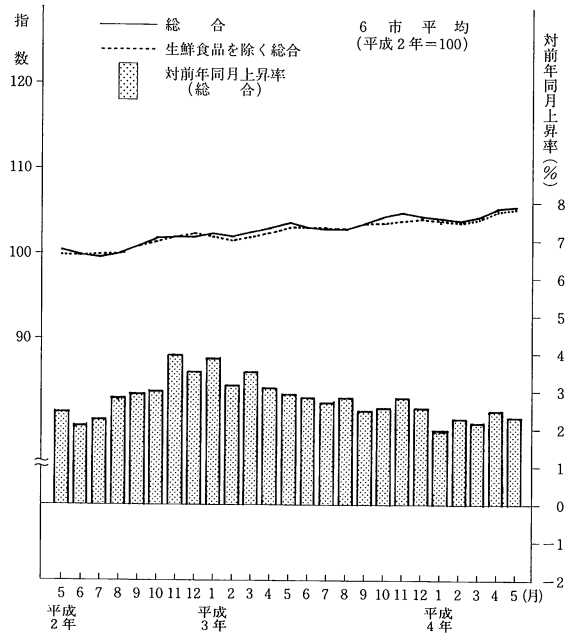
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(6月1日)

本県の人口は、5月中に2,604人増加し、6月1日現在で2,895,571人(男1,446,138人,女1,449,433人)となった。

内訳は、自然動態で943人(出生2,501人,死亡1,558人)増加し、社会動態で1,661人(転入10,305人,転出8,644人)増加した。前年同月と比べると30,146人(1.05%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が16市42町村、減少が4市24町村、増減なしが1町である。

世帯数についても5月中に2,132世帯増加し871,553世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(5月)

1. 平均賃金の推移

5月の現金給与総額は、調査産業計で289,233円、対前年同月比1.5%増、このうちきまって支給する給与は285,344円、対前年同月比2.3%増であった。また、このうち所定内給与は260,196円、対前年同月比4.7%増であり、超過労働給与は25,148円、対前年同月比12.7%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比1.2%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

5月の総実労働時間は、調査産業計で158.9時間、対前年同月比2.4%減であった。このうち所定内労働時間は144.9時間、対前年同月比0.5%減、所定外労働時間は、14.0時間、対前年同月比18.6%減であった。

3. 雇用の動き

5月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.3%増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(5月分)

本県における平成4年5月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が119.6、出荷が122.8、在庫が133.0で、前月比は、生産が△5.2%の低下、出荷が△2.2%の低下、在庫が0.1%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△11.3%の低下、出荷が△11.8%の低下、在庫が4.8%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、精密機械工業、繊維工業、輸送機械工業が上昇し、鉱業、鉄鋼業、金属製品工業等が低下した。出荷では、精密機械工業、輸送機械工業、一般機械工業等が上昇し、鉱業、金属製品工業、食料品・

たばこ工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、繊維工業、鉱業、非鉄金属工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財、その他用生産財が上昇し、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、耐久消費財、資本財が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。

■消費者物価指数(5月)

平成4年5月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.8(平成2年=100)となり、前月比0.3%の上昇、前年同月比2.3%の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料3.0%、シャツ・下着1.9%、魚介類1.6%、家賃1.6%、飲料1.3%

今月下がった主な項目……野菜・海草5.7%、果物1.4%

生鮮食品を除く総合は105.6となり、前月比0.5%の上昇、前年同月比2.5%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.4	△0.4	2.5	保健医療	102.4	△0.1	2.6
食 料	106.0	△1.1	2.5	交通通信	99.9	0.0	△0.4
住 居	109.5	0.4	5.6	教 育	105.8	0.0	3.1
光熱・水道	102.9	0.0	0.5	教養娯楽	106.9	△0.6	3.3
家具・家事用品	101.7	0.4	1.1	諸 雑 費	103.2	0.0	1.9
被服及び履物	108.7	0.1	2.5	生鮮食品を除く総合	105.6	0.0	2.6